

物理療法

1. ホットパック

適応

1. 疼痛緩和：外傷後の痛み、変形性関節症、関節周囲炎の痛み、腰痛症など
2. 知覚過敏・異常の緩解：神経麻痺の時の不快感、こわばり感
3. 筋スパズムスの緩解：いわゆる肩こりなど
4. 中枢性麻痺時の筋痙直緩解
5. 局所の浮腫減退
6. 血行改善、局所組織の栄養改善
7. 他の理学療法の前処置
関節拘縮治療の前処置（疼痛緩解と組織の軟化）
運動療法時の前処置（筋スパズムス、疼痛の緩解）
牽引療法時の前処置（筋スパズムスの緩解）

2. 牽引療法（頸椎・腰椎）

適応 a)頸椎牽引の場合

1. 頸部椎間板ヘルニア、椎間板変性、変形性脊椎症など
2. 頸肩腕症候群と呼ばれている頸部・肩・胸部から手指にかけての疼痛、痺れなどの症状を示すもの
3. 頸部、肩、上腕、肩甲間部に及ぶ筋痛、こわばりなどを主訴とするもの
4. 頸椎の外傷に基づく一連の症状
5. 頭重感（特に後頭部）、肩こり、眼精疲労、鼻閉、咽喉異物感、めまい、耳鳴り

b)骨盤牽引の場合

1. 腰仙部の椎間板ヘルニア、椎間板変性、椎間関節の障害、変形性脊椎症、靱帯の肥厚などによって起こる腰痛及び坐骨神経痛群
2. 腰部にこわばり、不快感を訴えるもの
3. 分離症、すべり症などで腰痛・坐骨神経痛様症状を訴えるとき